

第4歌 テレマコス、スパルタでメネラオスに会う

[テレマコス](#)と[ペイシストラトス](#)は[スパルタ](#)で[メネラオス](#)と会った。メネラオスと[ヘレネ](#)が、戦場での[オデュッセウス](#)の活躍を語った。メネラオスは海の翁[プロテウス](#)から聞いた[オデュッセウス](#)の消息を語った。そのころ[イタケ](#)の求婚者たちは[テレマコス](#)が旅に出たのを知り、殺害するために待ち伏せを企んだ。

内容

メネラオスに会う [テレマコス](#)と[ペイシストラトス](#)の二人は[ラケダイモン](#)に着くと、[メネラオス](#)は息子と娘の婚礼を祝って宴を催していた。二人はメネラオスの広大な屋敷で歓待を受けた。

メネラオスやヘレネと語らう メネラオスが[トロイア戦争](#)での兄や戦友や[オデュッセウス](#)の悲運を嘆くと、[テレマコス](#)は急に泣き出し、メネラオスはこの若者は何者かと思いをめぐらせる。[ヘレネ](#)が現れ、[テレマコス](#)が[オデュッセウス](#)にそっくりなことを指摘する。ペイシストラトスは身分を明かし、トロイア帰還の話聞かせてもらいにきたと説明した。メネラオスが[オデュッセウス](#)との友情を語り、彼の悲運を嘆くと皆が涙した。ペイシストラトスは嘆いてばかりいないで食事を楽しもうと提案する。ヘレネもメネラオスも戦場で[オデュッセウス](#)の働きが見事だったことを称賛した。夜になり皆眠りについた。翌朝、メネラオスは[テレマコス](#)に用向きを尋ねる。[テレマコス](#)は求婚者に屋敷を荒らされており、父の消息を尋ねてきたことを言う。

オデュッセウスの生存が分かる メネラオスはトロイアから帰還中[パロス](#)の島で順風が吹かず立ち往生した話をした。「そのとき女神[エイドテエ](#)が現れ、海の翁[プロテウス](#)の話聞きよう助言した。わしはプロテウスをどうやって捕らえて話をきけるのかエイドテエにたずねた。エイドテエは、海の翁が昼寝する岩屋にあざらしに化けて待ち伏せよと言い、昼寝したら飛びかかって押さえつけ、翁が変身しても離さないようにと助言した。わしはその通りにして海の翁を捕まえると、いろいろな話を聞くことができた。翁は、[小アイアス](#)の死のことで、[アガメムノン](#)が殺害されたことを語った。そして[オデュッセウス](#)が仙女[カリュプソ](#)に引き止められていることを語った。わしらは翁の助言どおり[アイギュプトス](#)の河で神への生贄を果たし帰国できたのだった。」

求婚者の待伏せ そのころ、[オデュッセウス](#)の屋敷では求婚者たちが[テレマコス](#)の旅に気づいた。[アンティノオス](#)は怒って、途中で待ち伏せして殺害することを周りに相談する。屋敷の近習[メドン](#)はそれを立ち聞きして、[ペネロペ](#)に告げた。ペネロペは息子の旅を初めて知ると驚き嘆いた。アテナはペネロペの夢枕に、彼女の妹[イプティメ](#)の姿で現れて慰めた。求婚者たちは船を出して、[アステリス](#)の島で[テレマコス](#)を待ち伏せた。

関連

人名

テレマコス	父の消息を尋ねて スパルタ へやってきた。
ペイシストラトス	ネストル の子。 テレマコス を案内してきた
メネラオス	スパルタ の王。 オデュッセウス の消息を語る
メガペテス	メネラオス の息子
ヘレネ	メネラオス の妻
ヘルミオネ	メネラオス と ヘレネ の娘

エテオネウス	メネラオス に仕える従士
アンティロコス	ネストル の息子
アスパリオン	メネラオス の近習
アンティノオス	求婚者のリーダー格。 テレマコス 殺害を計る
メドン	屋敷の近習。求婚者の企みを ペネロペ に告げる
エウリュクレイア	テレマコス の乳母
イプティメ	ペネロペ の妹。 アテナ が姿を借りる
デイポボス	トロイア戦争 中に ヘレネ の夫だった
イドメネウス	木馬の中にいた
アンティックロス	木馬の中にいた
プロテウス	海の翁。海の進み方を メネラオス に教える
エイドテエ	プロテウス の娘。プロテウスの捕らえ方を メネラオス に教える
小アイアス	トロイア から帰還中に ギュライ の岩礁で死ぬ
アガメムノン	アイギストス に殺害される
アイギストス	アガメムノン を殺害する

地名

ラケダイモン	スパルタのこと
パロス	プロテウスの住む島

[オデュッセイア](#) ... [前へ](#) ... [次へ](#)